

独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター 看護部

Recruit Guide 2025

NURSING
find

Access

大阪・梅田から15分

● 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車 11番出口すぐ



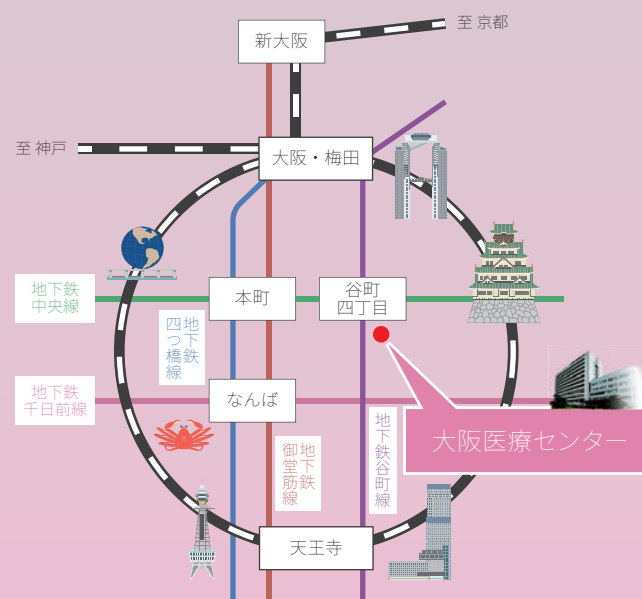
独立行政法人 国立病院機構
大阪医療センター 看護部

〒540-0006

大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL. 06-6942-1331

<https://osaka.hosp.go.jp/nurse/>



NURSING
find

やりたい看護が
きっとみつかる

あなたの「やりたい看護」が、ここで見つかる。

私たちは、患者さんの笑顔を支える看護を大切にし
医療の現場で専門性を活かしたケアを実践しています。

チーム医療と最新の医療機器を活用しながら
信頼される看護を病棟一丸となって追求しています。

一人ひとりが誇りを持って生き活きと働けるよう
成長を支える教育プログラムも充実しています。

 **find** NURSING

やりたい看護が
きっとみつかる

あなたの理想の看護 ここから始めてみませんか？



Philosophy

大阪医療センターの理念

私たち、大阪医療センターの職員は

- 01 医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 02 透明性と質の高い医療を、分け隔てなく情熱をもって提供します。
- 03 医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 04 常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。



Greeting

院長メッセージ

看護師は、医療の重要な担い手として、医師、薬剤師、理学療法士、技師らと共に患者さんの治療に携わります。病院は、医療専門用語が飛び交う、とてもクールな職場です。一方、看護師には、患者さんに寄り添って不安を和らげる役割があり、優しさが求められます。なかなか奥の深い難しい仕事ですが、意義のある崇高な仕事です。是非、誇りを持って、楽しみながら、看護師の道を歩んで行きましょう。

大阪医療センター 院長 **松村泰志**





看護部の理念

- 01 人権を尊重した看護をし、親切丁寧なケアとプライバシーの尊重に心掛けます。納得して検査、治療を受けていただけるよう最善の努力をします。
- 02 専門職として専門的な知識、技術を持ち、人格を磨き、生涯学習すると共に広い視野をもって社会に貢献します。
- 03 患者に関わる他職種との連携を図り、より良いチームワークのもとに総合看護を提供します。
- 04 教育研修病院として常に看護職員相互が研鑽すると共に、看護師、助産師学生への教育を行います。

看護部長メッセージ

看護の専門職として誇りを持って生き活きと働くために

看護の仕事は「人とのつながり」が何よりも大切だと考えています。確かな知識と技術に基づく看護の実践に加え、患者さんの思いやニーズを理解しようとする姿勢が、信頼される看護に繋がります。また、日々の忙しさの中でも、お互いを思いやる気持ちや行動が、働きやすく温かい職場環境をつくれます。私たちは、専門職業人としてだけでなく、人としても成長しながら、共に学び合い、支え合える仲間を心より歓迎いたします。

看護部長 水戸祥江

看護領域

当院の使命である『政策医療』の看護を
実践しています

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部は、地域医療への貢献を目指し、ミッションである「政策医療」の看護を実践しています。がんをはじめとする、循環器やHIV、救命救急、災害医療などの多様な看護に、日々取り組んでいます。



教育体制 Education



教育理念・目標

国立病院機構の役割を果たすために 求められる看護師としての能力

国立病院機構の役割を果たすために求められる看護師の能力として、下記の6点があります。高い倫理観に基づき、国立病院機構の看護師として誇りを持って活き活きと働き、役割を果たせるよう、自己の能力を開発していきましょう。

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 01 高度な専門的知識・技術を有し、主体的に実践できる | Art, Theory |
| 02 高い倫理観に基づいた、質の高い看護の提供ができる | Caring |
| 03 多職種と協働し、看護の役割を発揮する | Teamwork |
| 04 病院経営に参画でき、看護におけるマネジメントができる | Coordinate |
| 05 後輩と共に学び合い、自律した看護職になる | Coaching |
| 06 臨床看護研究ができる能力を有し、看護を創造する | Create |

人材育成
教育について



人材育成の考え方

ラダーから ジャングルジムへ

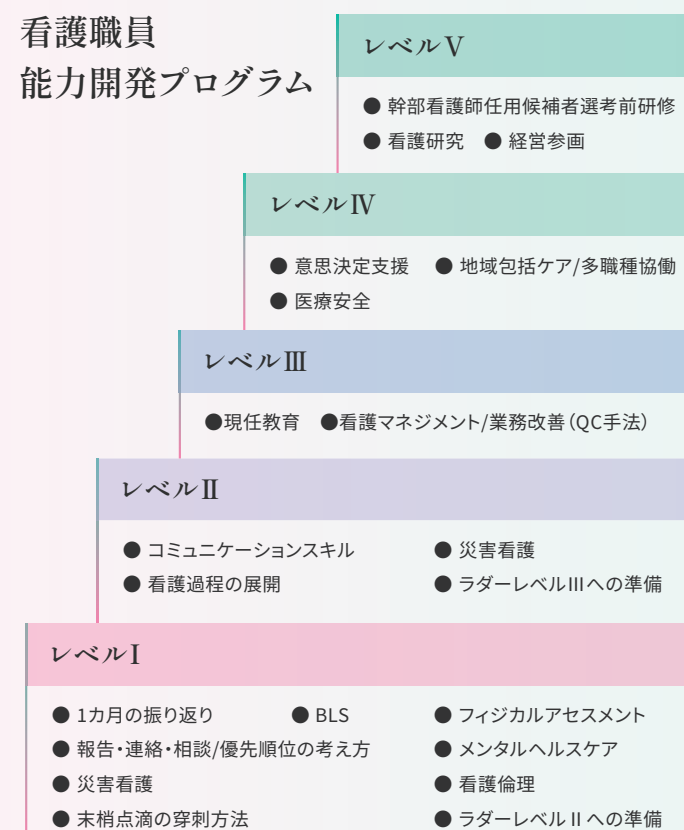


登るか、降りるしかない、ただまっすぐのはしごを上
がっていくのではなく、時には横に移動したり、一段
降りてみたり、途中で休んでみたり。

まるで「ジャングルジム」のように、さまざまな方向か
ら、自分のペースで経験を積み、それぞれの目標に
到達できるような教育を目指しています。看護の道
を進む過程で、迷ったり、行き詰まったりすることが
あっても、看護への情熱を持ち続ける看護師を育成
したいと考えています。

そのために、大阪医療センターでは、それぞれの看
護師が目指す看護を実現するために、能力開発プ
ログラムに基づいて、一人ひとりの成長を応援して
います。

看護職員 能力開発プログラム



新人ナース Novice nurse

病棟全員で新人の成長を応援する

「屋根瓦方式」の 教育制度

大阪医療センターの教育体制は屋根瓦式教育体制
で、教えられた側が次は教える側に回り、先輩看護
師がOJTの中で看護実践の場面を通して後輩看護
師を指導します。

すぐ上の先輩が後輩を教えることで自身の能力を
向上させ、屋根瓦のように支え合いながら積み上げ
ていきます。新人看護師は、疑問や不安に思うこと
があればいつでも誰にでも聞くことができ、病棟に
いるたくさんの経験豊富な先輩看護師の看護を学
ぶことができます。

新採用職員 オリエンテーション・研修

- 1週目は病院全体のオリエンテーションを実施。
2週目からは実践に沿った看護技術の研修です。
グループワークやシミュレーションで、仲間づくりをしながら必要な技
術を習得します。
病棟でのオリエンテーションも始まります。
3週目には他職種と一緒にレクリエーションも開催。
チーム医療について学びます。
4週目には、夜間看護研修が始まります。
患者さんの24時間が理解できるようになります。

教育研修年間カレンダー

1年を通して、基本的な知識と技術が習得できるように研修を計画しています。月に1回、同期でお互いの成長を確認し合っています。

5月 1カ月の振り返り	6月 BLS	7月 フィジカルアセスメント	8月 報告・連絡・相談/ 優先順位の考え方	9月 末梢点滴の穿刺方法 (IVナースシステム)	10月 メンタルヘルスケア
11月 看護倫理	12月 災害看護～基礎～	1月	2月 ラダーⅠの振り返り	3月	実務研修 ラダーⅠ ・シャドー ・逆シャドー

Message

看護実践に必要なスキルを しっかり学べる環境

「新人教育が手厚い」と、当
院で働いている看護学校の先
輩から聞いて入職し、今、自
分自身でそれを実感していま
す。採血など看護実践で欠か
せない基礎は集合研修で、各
病棟で求められる知識や技術
は個別の勉強会で学べます。私が所属する整形外科病棟は
手術を受ける患者さんが多く、術後観察とケアが重要なので、
医師の方々が“患者さんの状態に応じた対応”など、テー
マ別にさまざまな勉強会を開いてくださいます。また、日々
の看護については先輩看護師のみなさんが親身になって指導
とフォローをしてくださるので心強いです。



2025年入職
東6階病棟



トレーニングセンター匠

全職員が24時間利用できるスキルラボを併設。シミュレータ
ー人形や看護処置に必要な物品を備えています。自分の空
いている時間を活用しながら、看護ケア(採血、吸引、ACLS
等)のスキルを向上させることができます。

中堅ナース Mid-level nurse



看護専門職者として さらなる成長と挑戦を

看護師としての基礎を固めながら、自らの専門性や将来のキャリアを見つめ直す時期を迎えます。大阪医療センターでは、中堅ナースが自信をもって次のステップに進めるよう、さまざまな支援体制を整えています。

Message

自分の専門性を高めて 日々の活動で発揮

入職後、現在所属している病棟に配属されたことがきっかけで糖尿病看護に興味をもつようになりました。そして、経験を積むなかで「専門性を高めたい」と思うようになり、入職4年目に糖尿病療養指導士の資格を取得。現在は糖尿病係として勉強会の実施に携わっている他、褥瘡リンケースやリーダーなどの役割も担っています。最初は「自分に務まるだろうか」という不安もありましたが、やってみるとたくさんさんの気づきがあり、チャレンジして良かったと思っています。成長する機会や将来の選択肢が多くあるのは、当院の大きな魅力です。



2017年入職
西8階病棟

キャリアアップのための 各種支援体制

専門性の高い診療科と多くの専門・認定看護師、特定看護師が在籍しています。研修や資格取得を積極的に推奨しており、「なりたい自分」に向かって一歩ずつ進める環境があります。

チーム医療で活躍

チーム内の調整役として、さまざまな職種間の意見の相違を調和させ、チーム医療の効果を最大化するための重要な役割を担っています。患者に最適なケアが提供できるようチーム医療の中核として活躍できるよう支援しています。



中途採用者支援について

中途採用者に対して、個別のOJT計画を立てて支援しています。ブランクがある方や急性期看護が初めての方でも、安心して業務に慣れていけるよう、きめ細やかな支援を行っています。既卒者にも入職時にラダーレベルを決定し、キャリアアップできるよう教育支援を行っています。

キャリアナース Career nurse

スペシャリストの紹介

大阪医療センターには専門看護師、認定看護師、HIVコーディネーターナース、臨床研究コーディネーターナースが在籍しています。

専従での配属や各部署への所属など、勤務の形態はさまざまですが、それぞれの専門分野の看護の質向上を目指して活動しています。

- がん看護専門看護師
- 緩和ケア認定看護師
- がん放射線療法看護認定看護師
- 救急看護認定看護師
- 集中ケア看護認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 腎不全看護認定看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- 糖尿病看護認定看護師
- 認知症看護認定看護師
- 摂食嚥下障害認定看護師
- 脳卒中看護認定看護師
- 慢性心不全看護認定看護師
- HIVコーディネーター
- 臨床研究コーディネーター

看護管理者能力開発 プログラム「CREATE」

ACTyナースとして自律した看護師になった後は、看護管理者としての能力開発プログラムがあります。職位に応じた看護管理能力を育成します。

看護管理者に求められる5つの能力

- ・自己開発力
- ・人材育成能力
- ・危機管理能力
- ・質管理能力
- ・組織管理能力



特定行為研修制度について

大阪医療センターは、厚生労働省より「特定行為研修指定研修機関」として指定を受けています。(令和5年2月22日 指定研修機関番号 2327030) 特定行為とは、あらかじめ医師が定めた手順書に準じて、看護師が診療の補助を行うことです。看護師による特定行為を実施するメリットは、看護師が医療チームの一員として、患者さんの状態に応じ、タイムリーかつ迅速に適切な看護を提供することにあります。研修を修了した看護師は、特定行為を行う場合に必要となる実践的な観察力、判断力に加え、高度かつ専門的な技能を身につけ、手術室や集中治療室を中心に活躍しています。



Message

より迅速な対応を目指して 特定行為看護師に

ICU、ER、HCUで看護をするなかで、「もっと迅速に患者さんの苦痛を和らげることはできないだろうか」と感じるケースがあったので、特定行為の研修(集中治療コース)を受けました。修了後は手順書に基づいて呼吸器の設定や、降圧剤・鎮痛剤の投与量の調整などを行っています。自分で行える範囲が広がったことで、以前よりもタイムリーな対応ができるようになった他、チームメンバーの負担軽減につながっているのが嬉しいです。今はまだ試行錯誤を重ねているところで、活動をより効果的にするための改善をつづけています。



2009年入職
救命救急センター/HCU

病棟紹介 Department



病棟紹介

手術や透析など緊急を要する治療や人工呼吸器管理が必要な患者さんが入院されるため、全身状態の管理や合併症を予防する看護に力を入れています。

11

耳鼻咽喉科は慢性中耳炎や突発性難聴や顔面神経麻痺、歯科口腔外科では、舌癌や歯肉癌に対する遊離皮弁を受ける患者さんの看護を中心にしています。

10

がんの患者さんが多く入院されています。緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、皮膚・排泄ケアチームなどの医療チームで治療内容や援助を検討し、ケアを実践しています。

9

主な疾患は、HIV/AIDS、糖尿病、悪性リンパ腫などです。内科疾患は、生涯付き合っていかなければならない疾患が多く、治療はもちろん、退院後の生活を考えた看護を大事にしています。

8

CCUでは、急性心筋梗塞・重症心不全・重症不整脈など重症度が高い患者の全身管理及び早期回復に向けた援助を多職種で行っています。

7

小児患者さんが前向きに治療に臨めるよう手術室訪問やプレパレーションに取り組んでいます。整形外科、循環器科など複数の診療科を受入れており早期退院を目指して頑張っています。

6

妊娠から出産・産褥・育児に至るまで、退院後の生活について継続した支援や指導を行っています。入院中は母児同室を推奨し、退院後は、助産師外来にて、産褥期の乳房ケアや育児相談、産後ケアも積極的に受け入れを行っています。

5

西病棟

眼科 腎臓内科
総合救急部 総合診療科

呼吸器内科 皮膚科
口腔外科 耳鼻咽喉科
形成外科

泌尿器科 消化器外科
呼吸器外科

糖尿病・内分泌内科
血液内科 感染症内科
血友病科

CCU

整形外科
小児科 循環器科

産科 婦人科
小児科

手術室

東病棟

12F

11F

脳神経外科 脳神経内科
SCU（脳卒中集中治療室）

10F

消化器内科

9F

消化器外科
呼吸器外科

8F

循環器内科
心血管外科

7F

整形外科

6F

婦人科 乳腺外科
消化器科

5F

4F

救命救急センター

2F

外来

1F

外来

SCUでは、脳梗塞や脳出血の急性期にある患者さんの看護を行っています。手術や検査を受けられる患者に対し、フィジカルアセスメントを駆使して異常の早期発見に努めています。また、早期社会復帰に向けてリハビリや摂食嚥下チームなど多職種と協働しています。

11

消化管疾患や肝臓疾患の患者さんが多く入院されます。肝臓治療、放射線治療や化学療法が行われます。また、慢性肝炎、肝硬変、肝臓癌などの増悪を予防するための肝臓病教室を開催しています。

10

手術目的で入院される患者さんの看護を行っています。悪性腫瘍が約8割以上を占め、手術のほかに化学療法や放射線療法、栄養管理、緩和ケア目的で入院される患者さんもおられます。

9

手術を受けられる患者さんの周手術期看護及び、虚血性心疾患や心不全の急性期から慢性期まで各期に応じた個性のある看護を実践しています。多職種と協働し生活指導や薬物指導を充実させ、早期社会復帰を目指した看護に努めています。

7

人工関節置換術では、最小侵襲手術を導入し、股関節や膝手術はロボット手術を行っています。また、手外科では上肢全般の疾患に対して専門的治療を提供しています。術後の患者さんに理学療法士と協働し、早期から日常生活動作自立の獲得に向けてリハビリテーションを行っています。

6

乳腺外科・婦人科疾患のがん患者さんが、入院患者さんの75%を占めています。手術療法、化学療法、放射線療法などの治療を安心して受けられるよう支援しています。

5

管理棟

ICU



救急

救急外来



3F | 救命救急センター

ICUとHCUを有し、三次救急の対応・入院受け入れを行っています。対象となる疾患は、重症外傷・広範囲熱傷・脳疾患・心疾患・急性薬物中毒など多岐にわたります。



4F

手術室

15の診療科が12室に分かれて手術を行っています。年間の手術件数は約6,000件、ダビンチ手術は、年間約190件実施しています。

4F

ICU

各診療科の全身麻酔手術を受ける患者さん、病状が重症化し集中治療が必要な患者さんを受け入れています。



1F | 救急外来

救急搬送は年間約6,000件受け入れており、3次救急指定病院として「断らない救急」をスローガンに救急患者の受入れています。重症外傷や急性心筋梗塞、脳卒中等超急性期看護を実践しています。

福利厚生 Benefit

すべて大阪医療センターの敷地内にあります！

看護師宿舎「法円坂宿舎」

- ワンルームタイプ(21,64㎡)
- オートロック
- 設備：IHクッキングヒーター、エアコン
- 宿舎使用料：18,200 円
- 月～金は管理人が常駐



院内保育園「なかよし保育園」

- 大阪市の認可外保育施設・教育費補助金対象施設
- 保育時間：7:45～19:00(延長保育もあり)
- 対象年齢：0歳(産後8週目)～小学校就学前



コンビニ・商業施設

- ローソン大阪医療センター店
- イズミヤ法円坂店
- ドン・キホーテ法円坂店

